

# 若年層献血意識調査

## — 結果報告書 —

平成20年10月

厚生労働省

医薬食品局 血液対策課

# 目次

I. 調査概要	2
---------	---

## II. 未経験者編

1. 対象者特性	
(1)居住地・性別(SC1/SC3)	6
(2)年齢・職業(SC2/SC4)	7
(3)医療関係への関与の有無(SC5)	8
2. 献血に関する認知・関心度	
(1)献血についての認知程度(Q1)	9
(2)献血の種類の認知(Q2)	11
(3)献血できる場所の認知(Q3)	13
(4)献血ルームのイメージ(Q14)	15
(5)献血への関心度(Q4)	17
(6)献血が病気の治療に役立っていることの認知(Q5)	19
(7)若年層の献血協力者の減少傾向認知(Q6)	21
3. 献血の広報・キャンペーンへの認知接触状況	
(1)献血に関する広報接触媒体(Q7)	23
(2)献血キャンペーンに効果的だと思う媒体(Q8)	25
(3)献血キャラクター「けんけつちゃん」認知(Q9)	27
(4)献血キャンペーン認知(Q10)	29
(5)「HOP STEP JUMP」を配布された記憶(Q11)	31
4. 感染症・血液製剤について	
(1)献血では感染症に感染しないことの認知(Q12)	33
(2)血液製剤の海外血液依存の認知(Q13)	35
5. 献血をしたことのない理由	
(1)1位<最も大きな理由>(Q15)	37
(2)1位~3位累計(Q15)	39
6. 献血するきっかけとなり得る要因	
(1)1位<最も大きな要因>(Q16)	41
(2)1位~3位累計(Q16)	43
7. 家族・友人の献血状況	
(1)家族の献血の有無(Q17)	45
(2)友人の献血の有無(Q18)	47
8. 献血に関する資料評価	
(1)献血の必要性への理解が良くなったか(Q19-1)	49
(2)献血に協力する意識の有無(Q19-2)	51
(3)今後の献血意向喚起(Q19-3)	53

## III. 経験者編

1. 対象者特性	
(1)居住地・性別(SC1/SC3)	58
(2)年齢・職業(SC2/SC4)	59
(3)医療関係への関与の有無(SC5)	60
2. 献血に関する認知状況	
(1)献血が病気の治療に役立っていることの認知(Q1)	61
(2)若年層の献血協力者の減少傾向認知(Q2)	63
3. 献血の広報・キャンペーンへの認知接触状況	
(1)献血に関する広報接触媒体(Q3)	65
(2)献血キャンペーンに効果的だと思う媒体(Q4)	67
(3)献血キャラクター「けんけつちゃん」認知(Q5)	69
(4)献血キャンペーン認知(Q6)	71
(5)「HOP STEP JUMP」を配布された記憶(Q7)	73
4. 感染症・血液製剤について	
(1)献血では感染症に感染しないことの認知(Q8)	75
(2)血液製剤の海外血液依存の認知(Q9)	77
5. 献血ルームのイメージ	
(1)ルームの雰囲気について(Q10-1)	79
(2)ルームの広さについて(Q10-2)	81
(3)職員の対応について(Q10-3)	83
(4)記念品や軽い飲食物について(Q10-4)	85
6. 初めての献血について	
(1)初めて献血した年齢(Q12)	87
(2)初めて献血した場所(Q13)	89
(3)初めての献血の種類(Q14)	91
(4)初めての献血で400ml献血することへの不安意識(Q15)	93
7. 献血回数について	
(1)過去1年間の200ml献血回数(Q16-1)	95
(2)過去1年間の400ml献血回数(Q16-2)	97
(3)過去1年間の成分献血回数(Q16-3)	99
(4)今までの合計献血回数(Q17)	101
8. 献血するきっかけ	
(1)初めての献血のきっかけ「1位<最も大きな要因>」(Q18)	103
(2)初めての献血のきっかけ「1位~3位累計」(Q18)	105
(3)現在献血するきっかけ「1位<最も大きな要因>」(Q19)	107
(4)現在献血するきっかけ「1位~3位累計」(Q19)	109
(5)高校での集団献血が その後の献血への動機付けとなるか(Q22)	111
9. 家族・友人の献血状況	
(1)家族の献血の有無(Q20)	113
(2)友人の献血の有無(Q21)	115
10. 献血に関する資料評価	
(1)献血の必要性への理解の深まり(Q23-1)	117
(2)献血に協力する意識の高まり(Q23-2)	119
(3)献血回数の増加意向喚起(Q23-3)	121
11. 献血についての要望・知りたいこと(Q11)	123

# I. 調査概要



1. 調査の目的 : 近年、献血者数は減少傾向にあり、特に若年層の献血離れは深刻なものとなっていることから、献血推進の枠組みについての見直しが行われているところである。

そのため、若年層の献血に対する意識調査を実施し、平成17年度に行った同様の調査の結果との比較を行うことにより、若年層の献血に対する意識等の変化があるかどうかを検証し、検証結果を今後の若年層に対する献血推進のあり方の検討に資する。

2. 調査の内容 : (1) 若年層の献血への関心度や献血へのイメージを把握する。  
(2) 若年層の献血に関する認知度を把握する。  
(3) 若年層が献血を行った時期やきっかけを把握する。  
(4) (1)~(3)について平成17年度の調査結果との比較を行う。

## 3. 調査の概要:

- 1)調査方法 : 委託先調査会社が保有している一般消費者パネルに対して、インターネットを通じて質問(調査票)を送付し、回答を収集する。

- 2)調査対象 : 全国の16~29歳の献血経験者及び献血未経験者  
※献血経験者 : 過去に1度でも献血の経験がある者  
※献血未経験者: 今まで1度も献血の経験がない者(採血前の検査で基準を満たさないため献血できなかった者を含む)

- 3)対象者数 : 回収数 5000名 (地域別内訳は、下表の通り)

	合計	経験者	未経験者
合計	10,000	5,000	5,000
北海道	420	210	210
東北	710	355	355
関東甲信越	3,650	1,825	1,825
東海北陸	1,560	780	780
近畿	1,632	816	816
中国・四国	862	431	431
九州・沖縄	1,166	583	583

- 4)調査期間 : 平成20年9月5日(金)~9月7日(日)



## II. 未経験者編

(注)帯グラフ等に表記されている比率は端数処理をしているため、合計が必ずしも100%にはならない。



# 1. 対象者特性

【未経験者編】



## (1) 居住地・性別 (SC1/SC3)

- 【居住地】は「関東甲信越」が36.5%を占めており、17年度調査と同様、中心となっている。以下、「近畿」(16.3%)、「東海北陸」(15.6%)の順で続き、全体構成も17年と概ね変わらない。
- 【性別】は、全体では「男性」51.1%、「女性」48.9%とほぼ半々。17年度に比べて男性回答者が大幅に増えている。
- 【年齢】については、20代がほぼ3/4(74.7%)を占めているが、17年度に比べ「16～17歳」(9.7%)、「18～19歳」(15.4%)といった10代の回答者が増加。
- 【職業】では、「会社員」(30.9%)、「大学生・専門学校生」(29.7%)が中心であり、両層で6割を占めている。17年度に比べて「大学・専門学校生」が増え、「専業主婦」「その他」が減少した。
- 【医療関係への関与有無】をみると、「携わっている」と回答した人は6.4%で、ほぼ前回並み。

### 居住地 (SC1)

		(%)					
		北海道	東北	関東甲信越	東海北陸	近畿	中国・四国
全 体	(N)	4.2	7.1	36.5	15.6	16.3	8.6
	17年 (5000)	4.0	7.0	36.0	15.0	17.0	9.0

【基数:対象者全員】

### 性別 (SC3)

		(N)		(%)	
				男性	女性
全 体	20年			51.1	48.9
	17年 (5000)			33.8	66.2
北海道	20年			50.0	50.0
	17年 (200)			34.0	66.0
東北	20年			51.0	49.0
	17年 (350)			36.0	64.0
関東甲信越	20年			51.9	48.1
	17年 (1800)			34.1	65.9
東海北陸	20年			51.9	48.1
	17年 (750)			34.9	65.1
近畿	20年			50.2	49.8
	17年 (850)			35.1	64.9
中国・四国	20年			50.8	49.2
	17年 (450)			29.8	70.2
九州・沖縄	20年			49.6	50.4
	17年 (600)			31.2	68.8

【基数:対象者全員】

# 1. 対象者特性

【未経験者編】



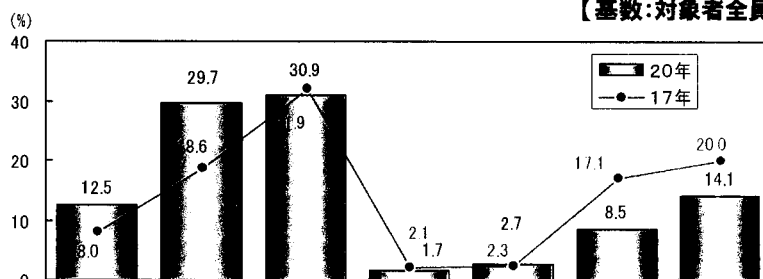
## (2)年齢・職業 (SC2/SC4)

### 年齢 (SC2)

		(N)	16~17歳	18~19歳	20~24歳	25~29歳
全体			9.7	15.4	35.5	39.4
	17年 (5000)		5.5	6.1	30.8	57.6
性別	男性		10.4	14.7	35.5	39.4
	17年 (1688)		6.6	7.0	32.3	54.0
	女性		9.0	16.1	35.5	39.4
	17年 (3312)		4.9	5.6	30.0	59.5
地域別	北海道		11.4	14.8	35.2	38.6
	17年 (200)		6.0	8.5	35.0	50.5
	東北		10.4	17.5	34.6	37.5
	17年 (350)		6.6	4.9	25.7	62.9
	関東甲信越		8.1	15.0	35.6	41.4
	17年 (1800)		4.4	5.8	30.4	59.3
	東海北陸		12.1	14.1	35.3	38.6
	17年 (750)		6.9	7.3	30.3	55.5
近畿		8.9	16.3	35.9	38.8	
17年 (850)		6.6	5.9	37.6	49.9	
中国・四国		10.7	16.5	35.5	37.4	
17年 (450)		4.7	6.4	27.1	61.8	
九州・沖縄		11.3	15.4	35.5	37.7	
17年 (600)		5.2	5.3	27.0	62.5	

【基数:対象者全員】

### 職業 (SC4)



【基数:対象者全員】

		(N)	高校生	大学生・ 専門学校生	会社員	公務員	自営業	専業主婦	その他
全体			12.5	29.7	30.9	1.7	2.7	8.5	14.1
	17年 (5000)		8.0	18.6	31.9	2.1	2.3	17.1	20.0
性別	男性		13.5	26.1	35.9	2.1	3.7	-	11.8
	17年 (1688)		9.0	25.9	37.6	2.8	4.1	-	20.6
	女性		11.5	29.1	25.7	1.3	1.6	17.3	16.4
	17年 (3312)		7.4	14.9	29.0	1.7	1.4	25.8	19.7
地域別	北海道		15.7	25.2	27.1	2.4	6.2	10.5	12.9
	17年 (200)		11.0	15.5	25.0	2.5	2.5	16.0	27.5
	東北		11.6	20.6	27.6	1.4	3.9	7.3	15.5
	17年 (350)		9.1	15.1	31.4	2.0	2.9	18.3	21.1
	関東甲信越		10.1	21.7	33.7	1.4	2.5	7.7	13.1
	17年 (1800)		6.3	20.4	33.8	1.6	1.7	16.9	19.3
	東海北陸		9.9	24.0	33.7	2.4	1.4	9.5	14.0
	17年 (750)		9.7	18.1	33.5	3.7	2.8	15.5	16.7
近畿		11.4	34.6	27.2	1.1	2.9	9.8	13.0	
17年 (850)		8.5	22.0	31.1	1.6	1.5	14.6	20.7	
中国・四国		10.7	27.6	30.2	2.1	1.6	8.1	16.7	
17年 (450)		8.0	15.6	30.2	3.1	3.6	18.9	20.7	
九州・沖縄		11.3	27.6	27.4	2.2	3.4	7.9	16.3	
17年 (600)		8.2	14.7	29.3	1.2	3.3	21.8	21.5	

(注) □ は、17年と比べて5%以上高いもの。□ は、17年と比べて5%以上低いもの。以降も同様。



# 1. 対象者特性

【未経験者編】



## (3) 医療関係への関与有無 (SC5)

SC5. あなたは学業及び職業で、医療関係に携わっていますか。

		【基数:対象者全員】		(N)		%	
						携わっている	携わっていない
全体				6.4	93.6		
	17年	(5000)		6.0	94.0		
職業別	高校生			1.4	98.6		
	17年	(398)		2.6	97.5		
	大学生・専門学校生			10.5	89.5		
	17年	(932)		10.2	89.8		
	会社員			6.7	93.3		
	17年	(1596)		6.1	93.9		
	公務員			7.1	92.9		
	17年	(104)		13.5	86.5		
自営業			6.0	94.0			
17年	(115)		3.5	96.5			
専業主婦			3.1	96.9			
17年	(856)		4.0	96.0			
その他			3.3	96.7			
17年	(999)		4.5	95.5			
性別	男性			4.9	95.1		
	17年	(1688)		4.7	95.3		
女性			7.9	92.1			
17年	(3312)		6.7	93.3			
地域別	北海道			7.1	92.9		
	17年	(200)		9.5	90.5		
	東北			5.9	94.1		
	17年	(350)		8.3	91.7		
	関東甲信越			5.6	94.4		
	17年	(1800)		4.6	95.4		
	東海北陸			5.4	94.6		
	17年	(750)		5.6	94.4		
近畿			6.6	93.4			
17年	(850)		6.4	93.6			
中国・四国			9.0	91.0			
17年	(450)		8.4	91.6			
九州・沖縄			7.7	92.3			
17年	(600)		5.8	94.2			



### (1) 献血に関する認知程度 (Q1)

- 『献血』について「よく知っている」と回答した人は12.6%。「ある程度知っている」というレベルの人(80.3%)まで含めると、認知率は9割を超えて92.9%にのぼる。
- 職業別では、高校生の認知率が他層に比べてやや低い。性別・地域別による認知率の違いはそれほどみられない。

- 17年度調査と比較すると、全体での認知率は73.8%→92.9%へ、大幅(19ポイント増)に上昇。
- 属性別にみても、各層とも認知率アップが目立つが、その中でも特に、職業別では会社員・専業主婦、性別では男性、地域別では北海道・関東甲信越で顕著となっている。
- なお、「よく知っている」レベルによる比較では、職業別では自営業の上昇度が最も大きく、逆に公務員は減少している。

## 2. 献血に関する認知・関心度

【未経験者編】



### (1) 献血に関する認知程度 (Q1)

Q1. 献血について知っていますか。

		【基数:対象者全員】 (N)		(% )			認知計
		17年	(N)	よく知っている	ある程度知っている	全く知らない	
職業別	全体	17年	(5000)	12.6	80.3	7.1	92.9
				8.4	65.4	26.2	73.8
	高校生	17年	(398)	9.7	79.1	12.1	88.8
				10.1	62.3	27.6	72.4
	大学生・専門学校生	17年	(932)	13.6	81.5	4.9	95.1
				9.9	67.0	23.2	76.8
	会社員	17年	(1596)	13.6	79.4	7.0	93.0
				8.2	65.6	26.2	73.8
	公務員	17年	(104)	11.8	83.5	4.7	95.3
				18.3	70.2	11.5	88.5
自営業	17年	(115)	16.4	73.1	10.4	83.5	
			10.4	65.2	24.3	75.7	
専業主婦	17年	(856)	10.6	85.1	4.3	94.9	
			8.1	67.5	24.4	75.6	
その他	17年	(999)	11.5	79.8	8.7	90.3	
			5.8	62.4	31.8	68.2	
性別	男性	17年	(1688)	13.3	77.8	8.9	86.1
				7.6	61.5	30.9	69.1
	女性	17年	(3312)	11.9	82.9	5.2	88.1
				8.8	67.3	23.8	76.2
地域別	北海道	17年	(200)	14.8	80.0	5.2	94.8
				9.0	62.5	28.5	71.5
	東北	17年	(350)	14.6	80.8	4.5	95.5
				9.1	66.6	24.3	75.7
	関東甲信越	17年	(1800)	12.8	79.7	7.6	92.4
				8.4	63.4	28.2	71.8
	東海北陸	17年	(750)	12.2	79.4	8.5	91.5
				6.5	66.4	27.1	72.9
	近畿	17年	(850)	12.4	82.0	5.6	94.4
				9.2	65.9	24.9	75.1
中国・四国	17年	(450)	11.1	81.9	7.0	93.0	
			9.1	66.7	24.2	75.8	
九州・沖縄	17年	(600)	12.2	79.8	8.1	91.9	
			8.7	68.5	22.8	77.2	



### (2) 献血の種類認知 (Q2)

### <新規質問>

- 『献血』には全血献血と成分献血といった種類があるということを「知っている」人は38.6%。残りの6割以上の人は未だ認知していない。
- 職業別では、公務員の認知率が半数を超えており他層に比べて高い。一方、高校生の7割強が「知らない」としており最も認知率が低い。
- 性別では、男性に比べて女性の認知率が10ポイント上回っている。
- 地域別では、東北の認知率が最も高い。



### (2) 献血の種類認知 (Q2)

Q2. 献血の種類(\*)を知っていますか。

\* 献血の種類には、すべての血液の成分を採血する全血献血(200mlまたは400ml)と、必要な血液の成分だけを採血する成分献血(血漿成分献血と血小板成分献血)があります。

【基数:対象者全員】		(N)	(%)	
			知っている	知らない
全体		(5000)	38.6	61.4
職業別	高校生	( 626)	29.1	70.9
	大学生・専門学校生	(1484)	39.4	60.6
	会社員	(1545)	39.3	60.7
	公務員	( 85)	50.6	49.4
	自営業	( 134)	36.6	63.4
	専業主婦	( 423)	42.8	57.2
	その他	( 703)	40.3	59.7
	性別	男性	(2556)	34.3
女性		(2444)	43.0	57.0
地域別	北海道	( 210)	36.2	63.8
	東北	( 355)	49.0	51.0
	関東甲信越	(1825)	36.4	63.6
	東海北陸	( 780)	36.8	63.2
	近畿	( 816)	36.8	63.2
	中国・四国	( 431)	43.4	56.6
	九州・沖縄	( 583)	41.2	58.8



### (3) 献血できる場所の認知 (Q3)

#### <新規質問>

- 『献血』できる場所(献血ルーム／献血バス／血液センター／会社や団体での出張献血)の認知状況をみると、「よく知っている」という人が24.5%と全体の1/4程度。また「ある程度知っている」(63.2%)まで含めると、認知率は87.7%にのぼる。
- 職業別では、専業主婦の認知率が最も高い。一方、高校生・自営業で他層よりもやや低い。
- 性別では、女性の認知率及び「よく知っている」とする割合の両方とも男性に比べて高い。
- 地域別では、東北のほぼ3人に1人が「よく知っている」と回答しており、他地域に比べて目立つ。

## 2. 献血に関する認知・関心度

【未経験者編】



### (3) 献血できる場所の認知 (Q3)

Q3. 献血がどこでできるか知っていますか。(＊)

＊献血は、①献血ルーム、②献血バス、③血液センター、④会社や団体での出張献血をすることができます。

【基数:対象者全員】		(N)	(%)			認知計
			よく知っている	ある程度知っている	知らない	
全体		(5000)	24.5	63.2	12.3	87.7
職業別	高校生	(626)	21.9	60.2	17.9	82.1
	大学生・専門学校生	(1484)	27.2	62.9	10.0	90.0
	会社員	(1545)	24.7	61.9	13.4	86.6
	公務員	(85)	27.1	62.4	10.6	89.4
	自営業	(134)	20.9	60.4	18.7	81.3
	専業主婦	(423)	27.9	65.7	6.4	93.6
	その他	(703)	19.2	68.4	12.4	87.6
	性別	男性	(2556)	21.1	62.7	16.2
女性		(2444)	28.0	63.7	8.2	91.8
地域別	北海道	(210)	19.0	71.0	10.0	90.0
	東北	(355)	32.4	59.7	7.9	92.1
	関東甲信越	(1825)	24.9	63.4	11.7	88.3
	東海北陸	(780)	20.6	62.3	17.1	82.9
	近畿	(816)	23.2	66.8	10.0	90.0
	中国・四国	(431)	24.6	61.7	13.7	86.3
	九州・沖縄	(583)	27.3	59.2	13.6	86.4



### (4) 献血ルームのイメージ (Q14)

- 『献血ルーム』のイメージについては、全体の半数弱(47.4%)が「ふつう」の印象を持っている。一方、「明るい」イメージの12.7%に対して、「暗い」イメージが15.4%と、僅かに暗いイメージの方が上回る。その一方で、4人に1人は「わからない」としている。
- 職業別で見ると、「明るい」と評価するのは専業主婦で最も高く、唯一「暗い」イメージを上回る。他層は「暗い」イメージの方がやや上回る。(その他の層は除く)  
なお、自営業で「わからない」が多くなっている。
- 性別では、男性に比べて女性の方が「明るい」イメージを持つ割合がやや高い。
- 地域別では、「明るい」イメージは北海道で最も高い。

- 17年度調査と比較すると、前回「わからない」の回答肢がないため、一概には比較できないが、全体では「明るい」「ふつう」「暗い」のいずれも減少。特に「ふつう」の落ち込みが顕著。
- 職業別にみると、「明るい」イメージは専業主婦を除く殆どの層で、軒並み17年度に比べて減少している。その中で、公務員はむしろ「暗い」イメージが高まっている。
- 性別では、男女ともに「ふつう」「暗い」で5ポイント以上のスコア低下がみられる。
- 地域別では、北海道で「暗い」イメージがやや上昇した。



## 2. 献血に関する認知・関心度

【未経験者編】



### (4) 献血ルームのイメージ (Q14)

Q14. 献血ルームのイメージを教えてください。

		【基数:対象者全員】		(%)			
		(N)		明るい	ふつう	暗い	わからない
全体				12.7	47.4	15.4	24.5
	17年	(5000)		18.2	61.2		20.6
高校生				12.8	45.0	16.1	26.0
	17年	(398)		20.6	61.1		18.3
大学生・専門学校生				13.5	49.5	15.7	21.4
	17年	(932)		20.0	59.0		21.0
会社員				10.6	48.3	15.9	25.2
	17年	(1596)		17.9	60.2		21.9
公務員				11.8	49.4	18.8	20.0
	17年	(104)		23.1	64.4		12.5
自営業				9.7	40.3	12.7	37.3
	17年	(115)		19.1	62.6		18.3
専業主婦				17.3	46.3	15.1	21.3
	17年	(856)		16.9	63.4		19.6
その他				13.8	45.0	12.9	28.3
	17年	(999)		16.3	62.8		20.9
性別	男性			9.1	46.9	17.3	26.7
	17年	(1688)		12.8	62.0		25.2
女性				16.5	48.0	13.3	22.2
	17年	(3312)		20.9	60.8		18.3
地域別	北海道			18.1	45.7	13.8	22.4
		17年	(200)	23.0	69.0		8.0
	東北			14.9	49.9	11.5	23.7
		17年	(350)		15.4	62.9	
	関東甲信越			11.0	46.6	17.9	24.5
		17年	(1800)		17.6	59.7	
	東海北陸			12.2	47.6	14.1	26.2
		17年	(750)		16.4	62.3	
	近畿			11.6	47.4	17.3	23.7
		17年	(850)		16.0	60.8	
	中国・四国			14.8	48.3	10.9	26.0
		17年	(450)		20.0	65.6	
	九州・沖縄			15.4	48.4	12.5	23.7
		17年	(600)		23.7	58.5	

注:17年は「わからない」の回答数なし。



### (5) 献血への関心度 (Q4)

- 『献血』に対する関心度をみると、関心あり層の45.8%(そのうち、非常に関心がある:5.2%)に対して、関心なし層が54.2%(うち、全く関心がない:8.6%)と、“無関心派”がやや上回る。
- 職業別では、他層に比べて専業主婦で関心あり層の割合が高い。
- 性別では、男性に比べて女性の関心度が高く、関心あり層の割合は男性を18ポイント上回る。
- 地域別では、九州の関心度が他地域に比べて高くなっている。

- 17年度調査との比較でみると、全体では関心あり層が52.2%→45.8%へ6ポイント低下した。
- 職業別にみると、関心度の高い専業主婦を除く各層の関心度が低下傾向となっている。また、男女ともに関心度が低下している。
- 地域別では、北海道、関東甲信越、東海北陸、近畿等において関心度がやや低下。

## 2. 献血に関する認知・関心度

【未経験者編】



### (5) 献血への関心度 (Q4)

Q4. 献血について関心がありますか。

		【基数:対象者全員】		(%)					
		(N)		非常に 関心がある	関心 がある	特に 関心がない	全く 関心がない	関心 がある (計)	関心 がない (計)
全体	2017年	(5000)	5.2	40.7	45.5	8.6	45.8	54.2	
	17年	(5000)	6.4	45.8	40.3	7.5	52.2	47.8	
高校生	2017年	(398)	7.5	39.5	44.6	8.5	47.0	53.0	
	17年	(398)	12.8	46.7	34.2	6.3	59.5	40.5	
大学生・専門学校生	2017年	(932)	6.0	41.4	45.2	7.3	47.4	52.6	
	17年	(932)	8.0	49.4	35.1	7.5	57.4	42.6	
会社員	2017年	(1596)	3.4	39.4	47.6	9.6	42.7	57.3	
	17年	(1596)	4.4	43.4	42.9	9.3	47.8	52.2	
公務員	2017年	(104)	4.7	38.8	45.9	10.6	43.5	56.5	
	17年	(104)	3.8	48.1	43.3	4.8	51.9	48.1	
自営業	2017年	(115)	6.7	34.3	45.5	13.4	41.0	59.0	
	17年	(115)	7.8	47.8	41.7	2.6	55.7	44.3	
専業主婦	2017年	(856)	5.4	48.0	42.3	4.3	53.4	46.6	
	17年	(856)	6.1	46.7	41.5	5.7	52.8	47.2	
その他	2017年	(999)	5.0	40.0	44.4	10.7	45.0	55.0	
	17年	(999)	5.6	44.8	41.9	7.6	50.5	49.5	
性別	2017年	(1688)	3.0	34.5	51.4	11.2	37.5	62.5	
	17年	(1688)	4.6	40.2	45.1	10.1	44.8	55.2	
女性	2017年	(3312)	7.5	47.1	39.4	6.0	54.6	45.4	
	17年	(3312)	7.3	48.7	37.8	6.2	55.9	44.1	
地域別	2017年	(200)	6.7	40.0	42.9	10.5	46.7	53.3	
	17年	(200)	5.5	47.5	41.0	6.0	53.0	47.0	
東北	2017年	(350)	4.2	46.2	46.5	3.1	50.4	49.6	
	17年	(350)	5.7	44.3	42.0	8.0	50.0	50.0	
関東甲信越	2017年	(1800)	4.3	39.1	45.3	11.3	43.4	56.6	
	17年	(1800)	5.7	45.3	41.1	7.9	51.1	48.9	
東海北陸	2017年	(750)	4.6	38.8	48.8	7.7	43.5	56.5	
	17年	(750)	6.5	47.3	36.9	9.2	53.9	46.1	
近畿	2017年	(850)	5.9	40.4	46.7	7.0	46.3	53.7	
	17年	(850)	6.8	45.8	40.8	6.6	52.6	47.4	
中国・四国	2017年	(450)	5.1	39.9	48.0	7.0	45.0	55.0	
	17年	(450)	7.1	42.7	43.8	6.4	49.8	50.2	
九州・沖縄	2017年	(600)	7.9	45.6	38.9	7.5	53.5	46.5	
	17年	(600)	7.5	48.2	37.5	6.8	55.7	44.3	



### (6) 献血が病気の治療に役立っていることの認知 (Q5)

<新規質問>

- 『献血』がさまざまな病気の治療に役立っていることは、ほぼ半数の48.0%が認知している。
- 認知率は、職業別・性別・地域別のいずれでも、各層でそれほど違いはみられない。